



409 THIRD STREET, SW
WASHINGTON, D.C. 20416

**Penny Pickett, Acting Associate Administrator for
Entrepreneurial Development**

**Ellen M. Thrasher, Director
Office of Entrepreneurship Education**

**Jane Boorman, Director
International Visitors Program**

OFFICE OF ENTREPRENEURIAL DEVELOPMENT

**An Introduction to the U.S. Small Business Administration
(SBA)**

連邦中小企業庁 (SBA):

SBAは、100億ドルの災害貸付ポートフォリオを含めて、850億ドルに近い事業貸付、貸付保証およびベンチャーキャピタル証券のポートフォリオを有しており、全米最大の中小企業向け融資支援機関である。

SBAとは何か?

- 米国政府の小規模な独立連邦機関
- 責務: 中小企業関連の利益を助成し、専門的な助言を与え、支援・保護を行い、自由で競争力のある起業を護り、米国の経済全体を維持・強化し、かつ災害に見舞われた地域社会の経済復興を支援すること。
- 2008年度の予算 – およそ5億7千万ドル。SBAの予算は毎年議会によって割り当てられる。http://www.sba.gov/aboutsba/budgetsplans/BUDGET_REQ_PERF_PLAN.html を参照。
- これは連邦予算総額の1%の2.23/100に当たるが、SBAは五大連邦信用機関の一つである。

沿革:

- 1953年の中小企業法によって設立。<http://www.sba.gov/regulations/sbaact/sbaact.html> を参照。
- 前身の機関: 小規模戦争工場公社、再建融資公社、中小企業部、および小規模国防工場管理局。<http://www.sba.gov/aboutsba/history/index.html> を参照。
- 業務実施構造: SBAの全米90ヶ所の地域、地区および支部事務所を通じて実施。<http://www.sba.gov/localresources/index.html> を参照。さらにSBAの融資参加者および資源パートナーを通じて実施。

米国の中小企業:

- 全雇用主の99.7%以上を占める。
- 毎年 60 ~ 80% の新規雇用を創出。
- 民間企業労働者全体の半数以上を雇用。
- 米国の民間給与全体の45%以上を支払う。
- 農業以外の民間国内総生産(GDP)の50%以上を提供。
- <http://www.sba.gov/advo/stats/sbfaq.pdf> を参照..

「中小企業」の定義
SBA プログラムへの適格性:

SBAプログラムへの適格性:	業界別の規模に関する基準
具体的な内容:	中小企業の規模は、SBAの規模基準課 http://www.sba.gov/size が定義している。規模基準は北米産業分類システム(NAICS)に基づいている。規模基準は業界ごとに、従業員数あるいは一定期間の売上に基いて決められている。
重要な点:	業界内の全企業との相対的關係で見ると、その企業が「小規模」だということである。一般的に、中小企業として適格かどうかを決めるために、SBAでは以下の基準を使っている: 卸売りでは従業員100人以下。小売あるいはサービスでは平均(3年間)売上が、あるいは受領金額が450万ドルから3200万ドルまでの年間売上あるいは受領金額を超えない。製造業では、従業員数が500人以下だが、場合によっては1500人まで。建設業では平均(3年間)年間売上あるいは受領金額が、具体的な事業の種類によるが1200万ドル~3100万ドル以下。 http://www.sba.gov/services/contractingopportunities/sizestandardsttopics/index.html を参照。
重要な点:	SBAの貸付および政府契約プログラムへの適格性のためには、中小企業は具体的に示された SBA規定の「中小企業」の定義に当てはまらなければならない。

「中小企業」の定義
調査目的のために:

SBAのアドボカシー部は調査目的のために
中小企業の定義を右記のごとく決めてい
る:

従業員500人未満の独立企業。

SBAの4つのプログラム上の機能

I. 資本へのアクセス(事業融資)

SBAは、中小企業に対して小規模融資における最小限のニーズからかなり多額の債務や株式投資用資金(ベンチャーキャピタル)にいたるまでの多様な融資を提供。

II. 起業家開発(教育、情報、技術支援および訓練)

SBAは、米国および米国領土内の1,800ヶ所以上の場所において、中小企業に対しての無料の個別面接やインターネットによるカウンセリング、ならびに創業間もない起業家や確立された中小企業に対しての低コストの訓練を提供する。

III. 政府契約業務(連邦調達)

中小企業法のセクション15(g)に記述された責務に従って、SBAの政府契約業務部は中小企業に元請契約の金額のうちの23%という法定目標を達成するように他の連邦省庁とともに目標を設定する。この課は、中小企業に対して下請けとしての調達機会、アウトリーチプログラム、および訓練をも提供する。

IV. アドボカシー(中小企業のための声)

この部は1978年に設立され、議会の法案を検討し、中小企業を代弁して証言を行う。また中小企業を代理して、規制の負担の影響も評価する。さらに、米国の中小企業および中小企業の環境に関する様々な調査研究を行う。この部の首席法務官は米国大統領が任命する。

資本へのアクセス

A. 貸付プログラム

1. 7(a) 融資保証プログラム
2. 504 貸付プログラム
3. 小規模融資プログラム

B. 投資(ベンチャーキャピタル)

1. 中小企業投資会社 (SBIC) プログラム

C. 緊急事態復旧

1. 災害融資プログラム

A.1. 7(a) 融資保証プログラム

1. SBAは2008年度に69434件の融資保証を行ったが、これは7(a) 一般事業融資保証プログラムにおいて127億ドルもの金額になった。
2. 商業貸付機関を通じての200万ドル以下の短期・長期融資の約75%を保証。
3. このプログラムは、運転資金から輸出融資にいたるまで多くの融資商品ならびにその申し込みを対象とする。
4. およそ6000行の商業銀行が、SBA 保証付 7(a) 融資を SBAの地区事務所および融資処理センターとの調整によって提供できる。
5. このプログラムの平均貸付金額は、24万ドル。
6. <http://www.sba.gov/services/financialassistance/7alenderprograms/index.html> を参照のこと。

A.2. 504 (CDC) 融資プログラム

- それぞれ特定の地理的範囲で営業する 270の認定済開発会社 (CDC)のネットワークを通じて、SBAは成長中の企業に土地や建物といった主要な固定資産のための長期融資を提供する。
- 認定開発会社は非営利法人で、地域社会の経済開発に貢献し、その地域社会内に雇用を創出・維持するために設立されている。CDC は中小企業への融資提供のためにSBAおよび民間貸付機関と協力する。
- <http://www.sba.gov/services/financialassistance/sbapartners/becomingcdc/index.html>を参照のこと。
- SBAは2008年度に認定済開発会社 (CDC) 融資プログラムの下で8883件、53億ドルに及ぶ融資を承認した。

A.3. 小規模融資プログラム

- 最小レベルでの経済的権限を付与することを促進。
 - 地元地域社会を基盤にした中間貸付機関 (NGO)のネットワークを通じて中小企業に3万5000ドルまでの小規模融資を提供。
 - SBA は小口の借手に再貸付をする小規模融資中間機関 (NGO) に割引歩合で融資を提供。
 - 各融資は技術支援 (訓練) の助成金を伴わなければならない。
-
- 170 の中間機関がSBAの資金による小規模信用貸付を提供。
 - <http://www.sba.gov/services/financialassistance/sbaloantopics/microloans/index.html> を参照のこと。
 - 2008年度には、SBAの小規模融資プログラムは2650件以上の借手に3100万ドル近い融資を提供。小規模融資プログラムでは、1992年以降32000件以上の小規模借入の起業家に3億8400万ドル以上を提供してきた。

B.1. 中小企業投資会社 (SBIC) プログラム

- SBIC プログラムは、成長過程にある中小企業にベンチャーキャピタルを提供するSBAの主要な手段である。
- SBAは、専門ベンチャーキャピタリストにライセンスを認め、その人が有限会社 (LP)あるいは有限責任会社 (LLC)という形で SBICを形成する。そしてSBAは融資保証を通じてSBICの民間資金を活用する。
- SBICは、中小企業に株式投資あるいは債券/株式投資を行い、企業の成長を助ける。企業がいったん成功裡に「存在する」ようになると、SBIC は利益を使ってSBAに払い戻す。資金補助期間は通常7~10年続く。
- ハイリスクで「従来型ではない」融資。
- 実施構造: 中小企業投資会社(SBIC)と呼ばれる370の民間ベンチャーキャピタリストの機関。
- 2008年度にSBIC のプログラムは年間で24億3000万ドルの株式および債権資本投資を行った。当プログラムで認可されている SBICは、約1905社の中小企業におよそ3400件の投資を行った。 <http://www.sba.gov/aboutsba/sbaprograms/inv/index.html> を参照。

C.1. 災害融資プログラム

- SBAの災害支援融資プログラムは、民間部門で農業以外の被災者に対して長期復興資金を提供する主要な連邦プログラムである。
- SBAの災害融資プログラムは、個人的な災害損失に対する主要な連邦政府の長期復旧プログラムである。ローンは、20万ドルまでの非保険対象の損失に対して、中心的住居を災害前の

- 状態にまで修理あるいは復旧するために、適格な住宅所有者に提供される。
- 物理的災害企業融資は、150万ドルまでの非保険対象の損失に対して、企業資産を災害前の状態になるまで取替あるいは修理するために、事業規模にかかわらず適格な応募企業に提供される。
 - 災害の直接の結果として経済的打撃を被った中小企業に150万ドル以下の融資が提供される。
 - SBAの災害支援融資プログラムは2008年度には、全米で15128件、8億2580万ドルの災害復旧融資を行った。SBAは1953年にプログラムが発足して以来、470億ドル以上の額の187万件の災害融資を承認した。
 - 2004年の晩夏には、ハリケーンや洪水に何度も襲われ、南東部州の被災地では約17万人の住民や企業所有者に対して低金利災害融資が承認される結果となった。また2001年9月11日攻撃以降に承認された災害融資は総額10億ドルを超えた。
 - <http://www.sba.gov/services/disasterassistance/index.html> を参照のこと。

起業家開発

SBAの技術支援プログラムは、中小企業を創業することに関心を持つ米国市民や永住者に無料で個別カウンセリングを提供する。さらに、様々な分野の事業関連の主題に関して訓練やワークショップを最小限のコストで提供する。

起業家開発技術支援プログラムおよびアウトリーチ:

- I. SBDC – 中小企業開発センター
- II. SCORE-米国中小企業に対する顧問役
- III. WBC- 女性ビジネス・センター
- IV. 中小企業訓練ネットワーク – sba.govでオンライン

その他のSBA技術支援プログラムおよびアウトリーチ:

- V. USEACS – 米国輸出支援センター
- VI. SBAのウェブサイト、オンライン図書館、出版物、調査研究および論文。

I. SBDC: (中小企業開発センター)

- 900以上のセンターがあり、その大半が全米及び米国領土内の大学に所在。
- SBA、学界、民間企業、および州政府や地方自治体などの協力による努力。
- 地方から都会、海洋業務から国際貿易、政府契約から自家営業の事業まで、地方経済の独特なニーズに対するSBDCのあつらえサービス。
- 経営技術支援を提供。
- 融資申請準備の支援。
- <http://www.sba.gov/aboutsba/sbaprograms/sbdc/index.html> を参照。

II. SCORE: 米国中小企業に対する顧問役

- 1万5百名 (10500) の退職・現役の上席役員および中小企業所有者のボランティア。
- 事業を開始、所有、経営する上での現実的実践経験。
- 専門的な営業上の助言、事業計画の準備、事業前計画立案を提供。
- 訓練ワークショップの開発・実施。

- 電子メールによるカウンセリング – 1200人もの経験豊富な男性・女性事業家が毎月およそ1万件に対応。<http://66.28.41.168/AvecetraScore/Secure/SearchCounselor.aspx> を参照。
- サービスの実施: 実地の顔を付き合わせてのカウンセリングが可能な385ヶ所の SCORE 支部、および電子メールができるSCOREウェブサイト。

- SCORE のウェブサイト: <http://www.score.org>.

III. WBC: (女性ビジネスセンター)

- 米国の女性所有企業は、1910万人以上を雇用し、2兆5千億ドルの売上で経済に貢献している。
- 1997年から2004年の間に、女性所有企業は経済全体を上回る速さで成長した。その企業数は全米で14%増加し、これは全企業平均の2倍の率であり、雇用は全米平均の1.5倍の30%の割合で増大。売上は全米平均と同様の40%の成長を遂げた。
- 全米の女性にカウンセリングおよび訓練を提供。
<http://www.sba.gov/aboutsba/sbaprograms/onlinewbc/index.html> を参照。
- 中小企業を経営する過程にある女性に個人指導プログラムを提供。
- サービスの実施: 2008年11月に、43州、グアム、プエルトリコ、および米領サモアに113ヶ所の WBCを配置。

IV. 中小企業訓練ネットワーク:

- バーチャルなキャンパスを使って、無料の訓練コース、ワークショップ、および知識資源を提供。
- 起業家や起業の他の学生を支援することを企図。
- インターネットを基盤とした学習環境。
- オンラインのコース、ワークショップ、出版、情報資源、学習ツールや電子カウンセリングへの直接アクセス、およびその他の形での技術支援を提供。
- <http://www.sba.gov/services/training/onlinecourses/index.html> を参照。

V. 米国輸出支援センター (USEAC):

- SBA、米国商務省、および輸出入銀行の合同努力。
- 国際貿易課を介してのSBAの役割。

- <http://www.sba.gov/aboutsba/sbaprograms/internationaltrade/index.html>を参照。
- 輸出運転資本の事前資格。
 - 国際貿易融資や輸出運転資本融資の処理。
 - サービスの実施: 18ヶ所の米国輸出支援センター。
 - <http://www.sba.gov/aboutsba/sbaprograms/internationaltrade/useac/index.html> を参照。

VI. SBAのウェブサイト、オンライン図書館、論文や調査研究論文:

- SBAはウェブサイトにて4万5000ページに及ぶ情報を維持するが、これは18の賞を受賞。
- SBAのウェブサイトは毎週平均1800万ヒットを達成している。
- 3番目の人気サイトは www.sba.gov/library のオンライン図書館である。レポートルームは、<http://sba.gov/library/reportsroom.html> で、融資統計や損失のレポート、さらにSBAのアドボカシー課が行った膨大な中小企業調査の資料を保有。同図書館には、SBAの出版物、ファクトシート、およびワークブックなども入っている。
<http://www.sba.gov/tools/resourcelibrary/publications/index.html> を参照

政府契約業務 (連邦調達)

米国政府は、世界最大の物品とサービスの購入者である。連邦調達は、年間約2000億ドルに達する。毎年SBAの政府契約業務課は、元請契約金額においてこの連邦調達予算の約23%を中小企業が獲得する支援を行う。これは議会が義務付けた法律上の目標値である。2008年度には、22%が達成された。この部はまた、中小企業に下請け調達機会、アウトリーチ・プログラムおよび訓練も提供する。

政府契約業務 (連邦調達)

- 政府契約業務を参照: <http://www.sba.gov/aboutsba/sbaprogramas/gc/aboutus/index.html>
- 目標達成プログラム: <http://www.sba.gov/aboutsba/sbaprograms/goals/index.html>
- CCR-PRO-ネット: <http://www.sba.gov/services/contractingopportunities/register/index.html> および SUB-ネット: <http://web.sba.gov/subnet/search/index.cfm?CFID=775842&CFTOKEN=4aefb67c76a063b-AA7D4951-F811-98EB-7F39113F6CCF78A9>

中小企業の調達状況は、以下の連邦調達データセンターの報告書を見て確認することも可能である:

- 一般情報は連邦調達報告書: <http://www.fpds.gov/>

中小企業技術革新および中小企業技術移転プログラム (SBIR/STTR)、技術部

- 中小の研究開発企業の競争能力を改善するべく連邦ハイテク・プログラムを促進
- 最新鋭の技術訓練、技術情報交換、および連邦技術プログラムのアウトリーチを奨励
- 連邦研究開発努力の商業化のために官民資源支援を奨励

- <http://www.sba.gov/aboutsba/sbaprograms/sbir/index.html> を参照
- TECH-ネット <http://www.sba.gov/aboutsba/sbaprograms/sbir/technet/index.html> を参照

アドボカシー部

- アドボカシー部は議会の法律により1976年に設立された。
- 責務: 連邦政府の立法および規則作成過程で全米の中小企業を保護、強化、効果的に代弁することである。 <http://www.sba.gov/advo/about.html> を参照。
- 首席法務官は、米国大統領が任命し、上院がこれを承認し、大統領および議会に直接報告する。
- アドボカシーは、中小企業に望ましい議会証言を行う。最近の証言については <http://www.sba.gov/advo/laws/testimon.html#General> を参照。
- アドボカシーの官庁間業務課は、規制公正柔軟法に基づいて規制イニシアチブおよび中小企業の成長を支援する他の政策イニシアチブを追求する。 <http://www.sba.gov/advo/laws/regflex.html> と http://www.sba.gov/advo/laws/law_fun.html を参照。
- アドボカシーの経済研究課は、研究を行い中小企業に関する統計を提供し、中小企業の報告書やデータを出版する。 <http://www.sba.gov/advo/research/> を参照。
- 10の地域アドボケート: 米国の中小企業の目と耳の役割をする。 <http://www.sba.gov/advo/region.html>
- 中小企業の州プロフィールは、各州において中小企業が果たす重要な役割の概略を提供する。 <http://www.sba.gov/advo/research/profiles/> を参照。

全米オンブズマン部

- 中小企業規制執行公正法により1996年に設立。
- 中小企業により友好的な連邦規制執行環境を醸成する任務。

- 中小企業からのインプットを増やす目的で、全米において聴聞会や円卓会議を開催。
- 中小企業と連邦省庁の間の連絡係として機能。
- 10の地域規制公正委員会の活動の調整。
- 連邦規制官庁を格付けし、「成績表」を議会に送付。
- <http://www.sba.gov/ombudsman> を参照。